

会 議 録

会議の名称	和泉市生活排水対策推進協議会【令和５年度（第１回）】
開催日時	令和６年３月１４日 １４時００分～１４時４０分
開催場所	和泉市役所３Ａ・３Ｂ会議室
出席者	委員 藤森会長、澤村副会長、前田委員、穴瀬委員、中野委員（以上５名 順不同） 欠席：森委員、池田委員 生活排水対策関係課（室） 職員４名（お客さまサービス課・下水道整備課・土木維持管理室・都市整備室）
事務局	環境保全課
会議の議題	（１）副会長の選出 （２）河川水質の現状について （３）令和４年度・令和５年度事業実績について （４）第２次和泉市生活排水対策計画の改訂について （５）その他
会議の要旨	（１）副会長の選出について 副会長には、和泉市町会連合会会長の澤村委員が選任された （２）河川水質の現状について 【事務局説明の概要】 「ＢＯＤに係る環境基準達成状況」については、本年度は全調査地点において、基準値をクリアしていた （３）令和４年度・令和５年度事業実績について 【事務局説明の概要】 事業計画に基づき、本市において令和４年度・令和５年度に実施した生活排水対策事業実績について報告 （４）第２次和泉市生活排水対策計画の改訂について 【事務局説明の概要】 第２次和泉市生活排水対策推進計画（中間見直し版）の目標年度を一般廃棄物処理基本計画内の生活排水処理基本計画の見直し年度である令和７年度に延長する （５）その他 なし
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必須事項	会議の形式：公開 傍聴人：０人 議事録の公開：有

主な内容	【質疑応答】 (2) 河川水質の現状について 《委員》 ○BODの資料1-1は平均値で、資料1-2の評価(○)は75%値で評価しているが、なぜ平均値で出しているのですか。大体国の基準とかでも75%値を多く見ます。もう1つ、令和4年のところで大きく上がっているところが3か所くらい、冬堂橋、阿弥陀橋とかあると思いますが、これはなぜですか。サンプル回数が4回しかないから濁水とかが効いているのかなという感じを受けました。 《事務局》 ○サンプル回数が4回と少ないところでごさいます、雨量の関係などの影響が出てきて高い数値になることがあると推測しています。 平均値と75%値については、環境基準と比較する際には75%値を採用するのが通例ですが、資料1-1については、単純平均でわかりやすく表したもので、参考程度に見ていただいたらよいかなと思います。ただ評価する際には、75%で評価するというものになっています。 (3) 令和4年度・令和5年度事業実績について 《委員》 ○No.4の合併処理浄化槽の件について、5件くらい毎年申請があって向上しているという話ですけど、資料3の第2次和泉市生活排水対策推進計画の11ページ、図9合併浄化処理施設の設置数と使っている人のグラフで、○の線グラフが令和3年から4年で合併処理浄化槽の設置数が2,314件から2,173件で140件くらい減っていますね。大体のものが増えていることが多く、減っているのは家がなくなったのかなと思ったのですが、5%分くらい一気に減っていますよね。これはなぜですか。 《下水道整備課》 ○令和3年度から4年度にかけて数字がかなり下がった主な理由としましては、ちょうどこの当時に水洗化、公共下水道へ切り替えた方の数も当然差し引きがあり、そういったことを再調査した結果と浄化槽の台帳の件数なども再調査しまして、そういうのを合わせた結果がこういった極端に数字が下がった結果となっております。 《藤森会長》 ○実際に1年で下がったのではなくて、調査ができていなかったということですね。それを再調査した結果こういうふうになったということですね。 (4) 第2次和泉市生活排水対策計画の改訂について 《藤森会長》 ○生活排水対策推進計画を1本化するという話ですけど、この会議は生活排水の会議なので、今後、生活排水については一般廃棄物のほうでやっていくことになるのですか。 《事務局》
-------------	--

○進行管理の話ですが、これはまだ庁内できっちり協議ができていませんが、現時点で2つ案があります。1つは一般廃棄物のほうで進行管理をしていく、もう1つは一般廃棄物処理基本計画の中の生活排水の部分だけはこの協議会にお願いして審議をいただく。この2つの案がありまして、そこはまだ決定していませんので、今後1年かけて協議していきたいと思っています。来年度の協議会を開かせてもらったときには、また報告なり承認をいただきたいと思っています。

《藤森会長》

○承知いたしました。